



プローブ接続式pH計 testo 206-3

温度
温度計
変換器

湿度
湿度計
変換器

圧力
圧力計
変換器

風速
風速計
変換器

マルチ
多機能
多項目

排ガス
燃焼炉用
ボイラ用

その他
水質分析
作業者環境
モニタリング
圧力調整
圧縮空気

温度補償
0~14pH



**プローブ
必須!**

※専用プローブが必要です(別売)

testo 206-3には、BNCソケットがついており、様々なテストのプローブと接続することができます。接続するプローブに温度計測機能が付いていれば、自動的にpH値の補正が行われますし、温度計測機能が付いていない場合には、手動でpH値の補正を行うことができます。また、標準装備のプロテクタによって、屋外や工場現場などの苛酷な状況下でも使用が可能です。



河川のpH計測

testo 206-3の用途

- BNCプラグにより、様々なプローブを接続することが可能
- 研究室等でのpH値計測に最適
- 水質や土壌など、環境分野のpH値モニタリングに
- 写真の現像過程等、工業分野でのpH値モニタリングに

セット商品のご案内



- ① testo 206-3
 - ② バッファ液 (pH4・7)
 - ③ アタッチケース
 - ④ タイプ01pH計測プローブ (0650 2063) または タイプ14pH計測プローブ (0650 2064)
- ※共に保存キャップ付

testo 206-3

testo 206 pH計
接続用電極、ホルダー、TopSafeプロテクタ、乾電池付

型番 0563 2063



ラボでのpH計測

testo 206シリーズ共通テクニカルデータ

計測項目	pH/温度
センサの種類	pH電極/NTC
計測範囲	pH: 0~14 温度: 0~+60°C (5分以内の短時間なら+80°Cまで) (testo 206-1/-2) (testo 206-3: 接続するプローブにより異なります)
分解能	pH: 0.01/温度: 0.1°C
精度±1digit	pH: ±0.02/温度: ±0.4°C
温度補償	自動
計測間隔	2回/秒
動作温度	0~+60°C
バッテリーの種類	ボタン型電池 (CR2032)×1
バッテリー寿命	約80時間
防水性能	IP68 (プロテクタ装着時)
外形寸法	197×33×20mm
質量	69g

testo 206シリーズセット内容&オプションのご案内

0563 2061	液体用pH計 testo 206-1	testo 206本体+液体用電極、TopSafeプロテクタ、保存キャップ、ホルダー
0563 2065	testo 206-1セット	testo 206-1、バッファ液 (pH4/7)、ケース
0563 2062	食品用pH計 testo 206-2	testo 206本体+食品用電極、TopSafeプロテクタ、保存キャップ、ホルダー
0563 2066	testo 206-2セット	testo 206-2、バッファ液 (pH4/7)、ケース
0563 2063	プローブ接続式pH計 testo 206-3	testo 206本体+外部電極コネクタ、TopSafeプロテクタ、ホルダー
0563 2067	testo 206-3セットA	testo 206-3、01電極、バッファ液 (pH4/7)、ケース
0563 2068	testo 206-3セットB	testo 206-3、14電極、バッファ液 (pH4/7)、ケース
0650 2063	testo 206-3用外部電極 (01電極)	計測範囲 [pH] 0~14
0650 2064	testo 206-3用外部電極 (14電極)	計測範囲 [pH] 0~14 [温度] 0~60°C
0650 2061	testo 206-1スベア電極	
0650 2062	testo 206-2スベア電極	
0554 2067	testo 206用保存キャップ	
0554 2068	testo 206用保存キャップ (3個)	
0554 2061	バッファ液pH4	250ml
0554 2062	バッファ液pH4 (3本)	250ml×3
0554 2063	バッファ液pH7	250ml
0554 2064	バッファ液pH7 (3本)	250ml×3
0554 2065	バッファ液pH10	250ml
0554 2066	バッファ液pH10 (3本)	250ml×3

★ゲル状の保存溶液



保存溶液をゲル状に改良
今までのようにこぼれてしまう事はなくなり、とても扱いやすくなりました

★バッファ液NEWボトル

ボトルの形状を使いやすく改良
別の容器に移す手間が省けるだけでなく、バッファ液を効率よく使うことができます



キャップを外し、ボトルを手で押して、校正・調整に必要な量のバッファ液を上試験容器部分に押し出します



試験容器部分に直接pH計を入れ、校正・調整を行います



バッファ液のボトルを傾けて、使用したバッファ液を捨てます